

れいわ さんねんど
令和3年度

ぶんかげいじゆつ

こどもいくせいそうごうじぎょう

じゆんかいこうえんじぎょう

文化芸術による子供育成総合事業

—巡回公演事業—

<児童劇公演>

公益社団法人 教育演劇研究協会



劇団 たんぽぽ



絵/柿平衣名美

ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—」

わくに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい え
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることをもくてき
目的としています。

じぜん こども じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな じつえん こども さんか
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演ではできるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁

おはなし レストラン

原作／ブレーメンの音楽隊・大きなかぶ
脚色／宮田恵紀子 演出／村岡由美子
音楽／村岡由美子 美術／柿平衣名美
衣裳／柿平衣名美 照明／真野亮文
制作／上保節子

だれもが知っているお話^しを客席^{はなし きやくせき}と
コミュニケーション^{えん}をとりながら演じ、
演劇^{えんげき みちか かん}を身近^{つく}に感じてもらえる作りと
なっています。



おはなし

ある時^{とき}、ふと、あらわれる、不思議^{ふしぎ}なレストラン。
このレストランでお出しするのは、食べ物^{た もの りょうり}のお料理ではありません。
お客様^{きやくさま}にピッタリ^{はなし ようい}のお話をご用意する、その名も「おはなしレストラン」。
ある日^ひ、使いこまれたランドセル^{つか}を背負^せった男の子^{おとこ}がやってきました。
「このランドセルがピカピカだったころ、ポクはなんでもできるような気がしていた。
でも・・・。」
ふうーっと、ため息^{いき}をついたその時に、レストランは現れる。
「いらっしゃいませ。おはなしレストランへようこそ。君^{きみ}にピッタリ^{きょう}の、今日の
メニューは、これ!!」
さて、扉^{とびら}を開けたその先^あで、男の子^{さき おとこ}を待っていたお話^{こ ま はなし}は・・・。

劇団 たんぼぼは・・・

1946年、戦争が終わり、大きな町が焼け野原になり、食べ物もなく、やせた子どもたちが日本中におおぜい
いた。「子どもたちの元気な顔が見たい」と、長野県篠ノ井で小百合子を中心に子どものための劇を見せる児童
劇団「劇団たんぼぼ」をつくりました。はじめのうちはリュックサックに衣裳や道具をつめて、子どもたちのところに行
って劇を見せました。1953年、静岡県浜松市にひっこしました。1955年、公演活動を認められ、文部省(当時)と
いう国の機関から公益法人格が許可され、社団法人教育演劇研究協会をつくりました。(現在は公益社団法人)
北海道から沖縄まで、主に小・中学校で劇をしています。

知ってますか?～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を
通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。